

第2回甲府市中心市街地活性化協議会議事録

1. 開催日時 平成19年6月4日(月) 午前9時30分～午前9時55分
2. 開催場所 甲府商工会議所4階401会議室
3. 出席者 15名(本人出席13名、代理出席2名、別添名簿参照)
4. 事務局出席 甲府商工会議所 地域振興部 部長 北井武国
 " " 副部長 三井秀臣
 " " 課長 越石 寛

5. 議事内容等

開会の後、丸茂会長より、「本日は、第2回目の協議会として長野市の視察研修を予定しているので、よく勉強して今後の活動に役立ていきたい。また、視察に出発する前に、2つほどの議題を協議いたしますので、委員各位のご協力をお願いする。」旨のあいさつをした。

続いて、丸茂会長に議長に就任いただき、次の議事について、事務局に説明を求め、それぞれの内容について意見を聞いた。

1) 規約の一部追加について

事務局より、中小企業基盤整備機構鈴木サポートマネージャーの指導もあり、第1条に(協議会の設置)を追加することを説明し、追加の条文を朗読した。

議長は、委員に意見を求めたが、特に意見もなく了承された。

2) 交通・駐車場等検討ワーキンググループの設置について

事務局より、具体的に交通問題や駐車場問題を検討するため、ワーキンググループの設置について提案した。特に、現在運行している買物バス「レトボン」の拡大運行について協議し、基本計画の参考となるようになに提案したい旨説明し、メンバーについても資料に基づき説明した。

なお、併せて、協議会の事務局として、(株)岡島より、経営企画室課長の野沢崇氏を派遣いただくことを説明し、特に交通・駐車場等検討ワーキンググループの事務を担当することを説明した。

議長は、委員に意見を求めたところ、長坂副会長より、「観光的な観点から、観光協会やタクシー協会などもメンバーとして検討してほしい。」との要望が出され、参考に検討することとした。その他特に意見もなくワーキンググループの設置が了承された。

議長は、各委員並びに事務局にたいしてその他の案件について、意見等を求めたところ、特になく、議事を終了した。

第2回甲府市中心市街地活性化協議会 出席状況

役職名	委員名	所属団体・役職名	6/4
会長	丸 茂 紀 彦	甲府商工会議所 副会頭	○
副会長	長 坂 善 雄	甲府商店街連盟 会長	○
委員	首 藤 祐 司	甲府市 副市長	代
〃	渡 辺 恭 史	甲府商工会議所 専務理事	○
〃	高 野 洋志雄	甲府中央まちづくり(株) 専務取締役	×
〃	河 西 眞 一	甲府中央商店街新生協議会 会長	○
〃	樋 口 幹 男	朝日通り商店街(協)	○
〃	谷 口 俊 郎	甲府市大型店協議会 会長	○
〃	宇佐美 太 郎	紅梅地区再開発組合 理事長	代
〃	浅 川 健 一	春日地区自治会連合会 会長	○
〃	清 水 明	〃 副会長	×
〃	有 井 昇	(株)山梨中央銀行 執行役員 営業本部 公務部長	×
〃	雨 宮 正 英	山梨交通(株) 常務取締役	○
〃	牛 奥 久 代	甲府市女性団体連絡協議会 会長	○
〃	森 澤 昌 子	子育て支援団体「ハッピーキッズ」代表	○
〃	市 原 実	山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科 教授	○
〃	丹 沢 良 治	NPO法人 街づくり文化フォーラム 理事長	○
オブザーバー	深 沢 博 昭	山梨県 商業振興金融課 課長	○
〃	跡 部 位	甲府警察署 交通課 課長	×

○=出席、×欠席、代=代理出席

長野市視察研修報告書

1. 実施日 平成19年6月4日(月) 午前10時出発

2. 視察先 (株)まちづくり長野 (長野商工会議所内)
もんぜんぷらざ、ぱていおだいもん など

3. 参加者 22名

No.	役職名	委員名	所属団体・役職名
1	会長	丸茂紀彦	甲府商工会議所 副会頭
2	副会長	長坂善雄	甲府商店街連盟 会長
3	委員	渡辺恭史	甲府商工会議所 専務理事
4	〃	河西眞一	甲府中央商店街新生協議会 会長
5	〃	樋口幹男	朝日通り商店街(協)
6	〃	谷口俊郎	甲府市大型店協議会 会長
7	〃	雨宮正英	山梨交通(株) 常務取締役
8	〃	牛奥久代	甲府市女性団体連絡協議会 会長
9	〃	森澤昌子	子育て支援団体「ハッピーキッズ」代表
10	〃	市原実	山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科 教授
11	〃	丹沢良治	NPO法人 街づくり文化フォーラム 理事長
12	委員代理	中澤義明	甲府市 企画部 企画総室 中心市街地活性化主幹
13	〃	小杉好雄	甲府紅梅地区市街地再開発組合 事務局次長
14	オブザーバー	深沢博昭	山梨県 商業振興金融課 課長
15	その他参加者	功刀晴彦	甲府市 企画部 企画総室 政策課 課長補佐
16	〃	仲沢章	甲府市 都市建設部 都市計画課 課長補佐
17	〃	秋山益貴	甲府市 都市建設部 都市計画課 課長補佐
18	〃	田中敏文	甲府市 産業部 産業振興室 商工振興課 係長
19	〃	春日康	甲府市 産業部 産業振興室 商工振興課 係長
20	事務局	野沢崇	(株)岡島 経営企画室 課長
21	〃	北井武国	甲府商工会議所 地域振興部 部長
22	〃	越石寛	甲府商工会議所 地域振興部 地域再生推進課 課長

4. 研修概要

1) (株)まちづくり長野 (前タウンマネージャー) 服部年明氏 より説明

- ・服部氏は、イオン開発担当者という経歴で、平成14年1月よりタウンマネージャーとして就任。全国のまちづくりのモデル的人材。現在は、独立行政法人中小企業基盤整備機構のまちづくりサポーターとし、地方の中心市街地再生を支援している。
- ・なぜ、中心市街地の活性化が必要か認識することが大切。都市の評価は、中心街の魅力で決まる。いくら郊外が発展しても、良い都市という評価にはならない。

- ・長野市の場合も、平成12年長野そごう、ダイエー長野が相次いで撤退して、厳しい状況になった。
- ・商売中心のまちづくりは間違え。商売が出来る環境をつくる必要がある。
- ・公の価値を上げないと、個人の価値もあがらない。
- ・行政、まちづくり会社、民間等の役割分担が必要で、行政が種をまき、まちづくり会社が口火を切ると民間が動く。
- ・長野市は、約5年間で再開発など総投資250億円、10年で回収できると考えている。
- ・中心街には核が必要。食品の提供など住んでいる人の利便性を考えてから、ファッションなどの構成を考えないと失敗する。
- ・なんととっても、首長の強いリーダーシップが一番重要。

2) ㈱まちづくり長野（新タウンマネージャー） 越原照夫 氏 より説明

- ・越原氏は、服部氏と同様イオンの出身。服部氏と共に、5年間まちづくりに携わり、今年から服部氏にかわり、タウンマネージャーに就任。㈱まちづくり長野の事務局は、現在越原氏と長野商工会議所から出向の田中部長と長野市から出向の羽田課長の3名で運営している。
- ・主に、㈱まちづくり長野の設立の経緯とその運営内容について説明
- ・現在、長野商工会議所会頭が社長。現在の長野市長が、長野商工会議所の副会頭から市長になったことが設立の原動力になっている。
- ・㈱まちづくり長野は、平成15年1月に資本金5,000万円で設立。現在は増資して8,000万円。
- ・出資については、会議所の議員などが、1口5万円で協力してくれて比較的スムーズに設立できた。
- ・㈱まちづくり長野は、まちづくりの調整と共に、ダイエー跡地のスーパー「TOMATO食品館」と蔵のある中庭を再生した「ぱていお大門」の運営を直接おこなっている。
- ・㈱まちづくり長野の経営は、H15年とH16年と赤字を計上したが、H17年から単年度黒字となっている。（累積赤字は、残っている）
- ・裏話として、「ぱていお大門」の建設に向けて、自己資金の借入金を調達する際、保証人問題で難航した。最終的に、商工中金の無担保・無保証の資金を利用できることになった。（社長＝会頭が保証人になることが難しい。）
- ・また、裏話として、前知事が田中康夫氏だったため、長野県から補助金がでなかったことも説明があった。

3) 現場見学

① TOMATO食品館（もんぜんぷらざ）

ダイエーが撤退した建物を長野市が購入、1階フロアを直接、㈱まちづくり長野がスーパーとして経営している。当日が、見学が午後3時ごろだったため、比較のお客様は少なかった。3年目から黒字になっているが、経営はかなり苦しい状況。2階以上は長野市の行政施設、観光協会や交際交流センター、子育て支援施設などが入っている。いろんな施設うまく配置して利用がされていた。地下は、レンタルスペースとして当日、ヨガ教室や社交ダンス教室などで利用されていた。また、防音になっているため、バンドのスタジオ的な利用も可能。

②ばていお大門

古いお蔵が残っている地域をパティオとして再生した施設。物販と飲食のお店が19店舗テナントとして入居している。H17年11月のオープン以来人気があり、やめるテナントがでないほど。まちづくり長野の経営を支えている。建物内の雰囲気も良く、見学した協議会メンバーも建設手法なども含めて非常に参考になった様子。